

A large, abstract, rounded orange shape with a gradient from light to dark orange, resembling a liquid drop or a lens flare, occupies the lower half of the page. It serves as a background for the main title text.

**GSK Japan**  
**医療・社会への貢献**  
**2019**

## GSK 医学教育事業助成

「GSK 医学教育事業助成」は、日本の医療の質と知識の向上を支援するために、2016年より公募による医学関係学会／医会が独自に企画する教育事業の助成を開始しました。助成事業の採択は外部有識者で構成される審査委員会で審議・決定されます。

### 2019年の応募要項

募集する 医学教育事業	次に示す疾患領域に関する医学教育事業 【A】 ・呼吸器疾患 ・皮膚疾患 ・泌尿器疾患 【B】 ・呼吸器疾患 ・リウマチ・膠原病
応募の資格	【A】 2016年度 GSK 医学教育事業助成の被助成学会 【B】 1,000人以上の正会員を有し、全国組織で運営されている医学関係学会／医会 但し、リウマチ・膠原病は会員数を問わない
助成金額	一事業に対して下記金額のとおり 【A】 500万～3,000万円 【B】 250万～1,500万円
助成期間	単年度もしくは3年以下の期間

※ 【A】 は 2016 年度 GSK 医学教育事業助成の被助成学会に限ります。

## 2018 年度採択学会／医会

学会／医会名（五十音順）	医学教育事業名称
日本音声言語医学会	音声診療の多職種専門家育成と地域住民・患者・医療従事者への音声障害啓発
日本呼吸器内視鏡学会	若手気管支鏡医養成のための包括的教育プログラム
日本排尿機能学会	日本排尿機能学会認定医教育事業
日本鼻科学会	国際性を兼ね備えた鼻科学スペシャリストの養成プログラム（手術手技教育と基礎研究者育成）
日本リウマチ学会	AI 技術とリウマチ学の接点を醸成する医学教育事業

※ GSK 医学教育事業助成の詳細については以下をご参照ください。

<http://jp.gsk.com/jp/research/ime-grant-2019/>

## GSK ジャパン研究助成

「GSK ジャパン研究助成」は、日本における医学・生命科学および関連する科学の領域における若手研究者の創造的な研究を助成することを目的として、「競争的資金制度」である「科研費」を参考に公募制のもと 2014 年に開設されました。

外部有識者による厳正なる審査が行われた結果、2014 年度は 103 名、2015 年度は 106 名、2016 年度は 137 名、2017 年度は 126 名の研究者に対し、助成を行いました。2018 年度は 380 名を超える研究者よりご応募いただき、83 名の研究助成者が採択されました。

GSK は 2019 年度以降も研究助成を継続していきます。

※ GSK ジャパン研究助成の詳細については以下をご参照ください。

<http://jp.gsk.com/jp/research/glaxosmithkline-research-grant-2019/>

第 67 回日本アレルギー学会学術大会にて 2014 年度助成者より発表していただきました。



## GSK の社会貢献活動

### 【社員からの募金や会社のマッチング】

GSK は全世界で 100 万人の子どもの命を救うことを目標に、2013 年から国際子ども支援 NGO セーブ・ザ・チルドレンとパートナーシップを組んでいます。

日本の社員も積極的に寄附に参加して、集まった寄附と同額をマッチングしています。2018 年は、平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）支援も含め、1500 万円以上の寄附をおこないました。

### 【社員のボランティア参加を支援：Orange Day 取得者年間 1850 人以上】

GSK では 2009 年より、世界中の社員に年間 1 日のボランティア休暇 Orange Day（オレンジ・デー）が付与されています。現在では 60%以上の社員が取得しており、ボランティア活動がしっかりと社内に浸透するまでになりました。普段の業務を離れ多くの学びを得ることができるとても大切な 1 日となっています。



## 患者団体のサポート

GSK は、患者団体をサポートする活動を 10 年以上継続しておこなっています。

### 【J-PALS（患者団体代表者サミット）】

GSK では 2006 年から毎年、患者団体を対象とした“学びとネットワーク構築の場”として、J-PALS を開催しています。

患者団体同士や専門家との交流を通じ、団体活動に必要な情報を共有し学び、ネットワークを構築することを目的としています。また 2014 年からは、より地域のニーズに沿った機会を提供すべく、「J-PALS WEST」を大阪で開催しています。



### 【J-PALS アカデミー】

医療情報の見極め方や、医療者との円滑なコミュニケーション、また団体運営のノウハウを実践形式で学ぶ場として、患者団体の代表や会員を対象に 2016 年より開講しています。

プログラム内容は、社内有志による組織横断的なプロジェクトメンバーが企画しており、患者さんが抱える課題を解決するためのプログラムを検討する中で、“患者さん中心”を肌で感じることができる、大変貴重な機会となっています。



※ J-PALS : Japan Patient Advocacy Leaders Summit

J-PALS は、2002 年に米国 GSK で開催された PALS にならったもので、現在は、日本を含め世界 8 カ国で開催されています。